

## 令和3年度第1回狭山市廃棄物減量等推進審議会

開催日時 令和3年7月16日（金） 午前10時から午前11時10分

開催場所 奥富環境センター リサイクルプラザ4階 会議室

出席者 野平委員、小川委員、岡村委員、横山委員、塩崎委員、指田委員、  
林委員、中村委員、田口委員、奥本委員、鎌田委員、山口委員、  
川内委員 以上 13名

欠席者 丸山委員、山梶委員

事務局 神田環境経済部長、千葉環境経済部次長、園部資源循環推進課長、  
吉田奥富環境センター所長、岡野副所長、齋藤主幹、  
小林稲荷山環境センター副所長、資源循環推進課 橋本主幹、鈴木主事補

傍聴者 なし

### 1 開 会

2 あいさつ 小川会長

### 3 議 題

#### (1) 狭山市の清掃行政について（資料1）

事務局 別添、資料1の廃棄物の概念、廃棄物の処理に関する計画、廃棄物の処理  
フロー、処理施設、令和2年度ごみ処理経費、令和2年度ごみ収集量につ  
いて説明

[質疑応答]

議 長 これに関して、意見・質問があればお願いします。

委 員 6.令和2年度ごみ処理量の生ごみについて、去年と比べ減っている状況  
にあるが、これは生ごみの排出量が減っているのか、参加者が減っている  
のか分かりますか。

事務局 専用バケツによる家庭系生ごみリサイクル事業の参加者は年々減少し  
ています。また、世帯数の状況をみると、核家族化により家族構成人数の  
減少や高齢化世帯の増加など、事業参加者の排出する生ごみ量が減ってい

る状況もあります。一方で機械式による生ごみの減量化や堆肥化を行う若年世帯も増えている状況も見られることから、生ごみのリサイクルに対する関心が薄れてきているとは考え難いところです。

委員 資料の2ページ、2-3排出目標で家庭系ごみ（1人1日の排出量）について、計画目標値が597グラムとなっていて、その差はかなりの量となっている、どうするのか。

事務局 令和3年度計画目標値の597グラムは、10年前に策定した一般廃棄物処理基本計画の基準年の平成22年度実績値697グラムから、10年をかけて、100グラムを削減しようという目標であったが、様々な施策により取り組んできましたが、計画どおりに削減が進んでいない状況にあります。これについては、今年度策定する基本計画において、検証したうえで、新たな目標値を設定していきたいと考えています。

委員 資料では、プラスチックの排出量が前年と比べ3.9パーセントの増となっている。令和2年度はコロナ禍により、プラスチックの排出量が増加したとされているが、資料のとおり、狭山市では、前年度に比べ3.9パーセント程度の増加だったのか。

事務局 テレワーク、ステイホーム等で家庭からのプラスチックごみの排出量は増えた状況ではありますが、これまでの減量啓発により、コロナ禍においても、3.9パーセント程度の増加に抑えることができたと考えています。他市町村では、容器包装リサイクル法のプラスチックしか処理していませんが、狭山市では容器包装以外のプラスチック、ファイルなどのプラスチック製品を含む、プラスチック全量を処理しています。

委員 狭山市ではプラスチックの全量を処理しているとのことから、マイクロプラスチックなど、河川から海へ流れ出て、海洋汚染の元となるプラスチックはないということか。

事務局 河川などに捨てられたプラスチックについては、河川のクリーン作戦などにより回収し、海洋汚染の防止に狭山市全体で取り組んでいます。

委員 家庭系生ごみリサイクル事業への参加者が増えるよう努めて欲しい。生ごみに含まれる水分は多く、これを減らすことでごみの減量化にも繋がる、啓発活動を増やして欲しい。

事務局 事業参加者が増えるよう取り組んでまいります。

委員 2ページの2-3排出目標の事業系ごみについて、前年度実績値より、減少している理由は、コロナ禍の影響によるものか。

事務局 コロナ禍による事業活動の低下と捉えている。

委員 事業活動が回復すると、事業系ごみの排出量は増えるのではないかと、今年度の排出量は計画目標値内となるのか。

事務局 経済状況が回復し、事業活動が活発化すると、今年度は令和2年度実績値を上回る排出量になると考えています。今年度（令和3年度）の実績値は計画目標値に近いものになるかと考えます。

委員 同じく、2ページの2-3排出目標の再生利用率について、令和22年度実績（基準年）34.3パーセントから、令和元年度32.2パーセントに下がっている、主な理由は何か。

事務局 再生利用率が下がった理由としては、任意団体による資源物の集団回収量の減少が考えられます。団体数が減っている状況と資源物自体の減少によるもので、資源物である新聞、雑誌の購読者の減少や新聞販売店による自主回収などの影響と捉えている。

委員 自治会からの回覧だったか、コロナ感染症の拡大の影響により古布の排出を控えてくださいとのことであったが、その後の状況についての告知等はない。排出目標に対する実績結果も大事なことだが、市民生活においては、コロナ禍でのゴミ収集方法の変更など、ごみに関する情報提供も重要なことだと強く感じる。どのような状況か。

事務局 回収した古布は、東南アジアへ輸出し、主には古着としてリユースされておりますが、コロナ感染症拡大に伴う輸出先での規制により、輸出が出来ない状況にありました。依然としてコロナ感染症による影響下にありますが、徐々に回復してきているところです。古布市況は、月単位の短い期間で変化するような状況ではありますが、今後は古布状況などの情報発信に努めてまいります。

## （2）狭山市一般廃棄物処理基本計画について

事務局 別添、資料2「狭山市一般廃棄物処理基本計画について」及び、資料3「狭山市廃棄物減量等推進審議会スケジュール（予定）」についての説明

〔質疑応答〕 質疑なし。

#### 4 その他(事務局より説明)

狭山市稲荷山環境センター施設整備基本方針(案)について

現在の状況と今後の予定についての説明。

- ・政策会議等を経て、地元自治会の上諏訪、鶉ノ木第二、鶉ノ木第三へ周知していること、今後、議会、庁議報告の後、決定する旨を説明。

#### 5 閉 会

配付資料

- ・令和3年度第1回狭山市廃棄物減量等推進審議会 次第
- ・資料1 狭山市の清掃行政について
- ・資料2 狭山市一般廃棄物処理基本計画について
- ・資料3 令和3年度狭山市廃棄物減量等推進審議会スケジュール(予定)
- ・狭山市廃棄物減量等推進審議会委員名簿